香芝市立三和小学校　学校通信１３号
令和６年　１０月　１８日　発行
校　長　　植　村　　貢

おうさつ

運動会が目の前に迫ってきました。12号にも書かせていただきましたが、三和小のみんなは真剣に練習に取り組んでくれています。全体練習の時には開・閉会式を気持ちのこもったものにしようという姿勢が感じられます。また、16日には予行練習も行いました。しかし、途中で雨が降ってきたため一時練習を中断しました。この中断に時間をとられたため、低中高の「表現」を飛ばして進めましたが、閉会式までスムーズに進めることができたので、急遽「表現」を行うことを子どもたちに伝えました。この時、児童席から「やったー！」という声があちらこちらから上がったのです。伝える前、ひょっとして「え～、やるの～。」というネガティブな反応があるのでは、と思っていただけに、この「やったー！」という声の多さに、三和小のみんなの運動会に対する熱い思いを感じて、とても嬉しく思いました。予行練習では赤組が優勝という結果になったのですが、練習での結果でも、赤・白組の子たちが素直な反応をしていたことにも嬉しく思いました。

さあ、運動会本番。三和小のみんなには全力で取り組んで、そして楽しんでほしいと思います。

赤組応援旗

赤組・白組のある日の応援練習風景

白組応援旗

みんな、本当にありがとう

10月8日（火）、この日の1時間目は全体練習でした。しかし、運動場は前日からの雨で何カ所か水たまりができていました。今後、練習が予定通り行われるとは限らないので、練習できるようにスポンジで水を吸い取ることにしました。作業をしていると、先生たちの姿を登校時に見た高学年の子たちが、朝の準備を済ませて一緒に水取りをしに出てきてくれました。昨年のかけ足の時も同じ光景がありましたが、手伝っている子は昨年の6年生の姿を見ていた高学年の子たちです。三和小の子たちに自然な形で受け継がれているものが…とても素敵で温かいものだなと感じました。